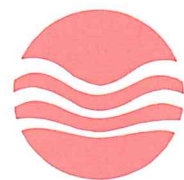


ひだまり



MOTHERTH

MOTHERTH NURSINGHOME FOR THE AGED

「20年のあゆみ」

社会福祉法人マザアス理事長
高原敏夫

平成 26 年 10 月 18 日、社会福祉法人マザアスは「おかげさまで」創立 20 周年を迎えました。この日を記念して翌 19 日に、ごく親しくお交わりをいただいで来ました方々と共に小宴を開催いたしました。来賓の中には、海を隔てた韓国から社会福祉法人「平安の家」イウンギョン理事長も参加してくださいました。



社会福祉法人を創設するには事業の実現可能性がないと認可になりません。事業成立には「地域のニーズ」と「資金」のほかに「土地」がなければなりません。当法人を省みますと、肝心な土地も資金もないところからの出発でした。そこにあったのは「地域のニーズ」「東久留米市東部地区に特別養護老人ホームを何とかしてできないか」との依頼のみでありました。

「社会福祉は地域のニーズに誠実に対応することからはじまる」という恩師の言葉に支えられて、活動しているうちに素晴らしい出会いに恵まれました。行政をはじめ多くの人の「善意」の結晶が特別養護老人ホームとなったのです。

この善意には感染力があるようで、当時の稲葉東久留米市長から森田日野市長に伝わって、事業開始できたのが、「特別養護老人ホーム マザアス日野」でした。省みますと、最もよい「タイミング」で法人の認可を受けることができたし、このタイミングを逃したら今日のマザアスは存在しなかったと思います。

タイミングというのは、介護保険開始（平成 12 年）以前、東京都には特別養護老人ホーム建設にあたって 10 億円まで土地助成制度があり、このお陰で東久留米・日野の土地は法人所有になっております。また、建設に対しても国、東京都、各市から大きな助成があり、日野事業所開設の翌年、平成 12 年から土地助成廃止、建設費助成も縮小されたのですから、本当に、危ういタイミングで二ヶ所の事業を開始することができました。

今日、法人が存在するまでには、善意ある方々のご支援があったわけですが、最大の功労者はミサワホーム株式会社の石原正弘様でした。法人創設時に必要な「資金」2 億 5 千万円の寄付に道を開いていただき、建物建設では近隣住民との折衝、土地購入時の交渉までお世話になりました。勿論仕事として関わった部分もありますが、一部の建物を除いて、日野事業所、新宿事業所の建設にも関与していただきました。特別養護老人ホームにいたっては、お蔭様で実質無借金でスタートできたのは奇跡的なできごとでした。

平成 17 年 5 月「特別養護老人ホーム マザアス東久留米」開設した当時、「看取り介護」を実施してきました。それを可能にしたのは職員の頑張りもありますが、石橋クリニックの石橋幸滋先生が存在があってこそ、実現できていると思っています。先生は嘱託医師や産業医としての役割だけでなく、職員教育、地域住民の健康教育でもお世話になっております。

歩みを振り返ると、建物に魂を入れサービスを構築したのは職員です。この職員一同の頑張りを見逃すことはできません。こころより感謝を申し上げたいと思います。

社会福祉法人には社会の厳しい目が注がれています。介護保険は来年度制度改正により大きな転換期を迎えようとしています。これからも「ニーズに誠実に対応する」だけでなく、今迄以上に「社会貢献」という視点を大切に、職員と共に将来の展望を開いていきたいと思っています。

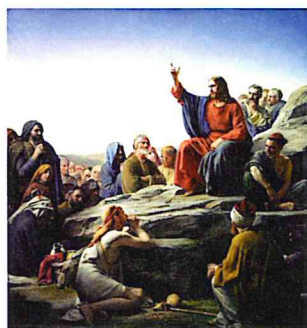
20周年を迎えた社会福祉法人マザアス

みなさまのご支援のもと、基本理念を信条として、20年支えられてきました。

基本理念

「何ごとでも人々からしてほしいと望むことは人々にもそのとおりにせよ」

この理念は、イエス・キリストが山上で弟子たちと群衆に語った「山上の垂訓（さんじょうのすいくん）」と言われる新約聖書内のマタイによる福音書第五章から七章にある一節である。



カール・ハインリッヒ・ブロッホ
(デンマークの画家) 1877

新約聖書マタイによる福音書第7章7節から12節から引用されている。一連のキリストの説教の中の1節であり「黄金律」と呼ばれています。

世界の名言といわれるものの中に、聖書のことばがたくさんありますが、なかでも、マタイによる福音書五章から七章にわたって記録されているイエス・キリストの説教には、宝石のようにきらりと光り輝く名言が少なからず出てきます。「あなたがたは地の塩である」「目はからだのともしび」「豚に真珠」「求めよ、さらば、与えられん」「狭き門よりはいれ」など、日常会話の中でもしばしば用いられてい

るこうした名言は、今から二千年前、ガリラヤ地方のとある小高い丘の中腹でイエス・キリストが語ったものです。山上の垂訓とよばれているこの教えは文学的にもすぐれています。荘重で流麗な文体、しかも簡潔で具体的な表現。想像力をかきたてる生き生きとした絵画的描写。丘の中腹にいる群衆ならずとも、いつのまにかそのすばらしさにひきつけられてしまいます。世界の文豪トルストイがイエス・キリストの山上の垂訓を小聖書とよんで愛読したのもなるほどとうなずけるような気がします。

社会福祉法人マザアスの歩み

平成6年10月 社会福祉法人マザアス設立



西武池袋線東久留米駅から見える富士山です。
この地に社会福祉法人マザアスは設立されました。



平成7年 5月 特別養護老人ホーム マザアス東久留米事業開始

マザアス東久留米開設記念式典



初代横溝幸雄理事長



初代高原敏夫施設長



施設模型の前で

平成 7 年 7 月 デイサービスセンター マザアス氷川台事業開始
 平成 7 年 7 月 ショートステイ マザアス東久留米事業開始
 平成 8 年 7 月 ヘルパーステーション マザアス氷川台事業開始



中庭のテラスにて



なでしこ幼稚園との交流



広報誌「マザアス」創刊：白黒でその時の様子が載っています。



平成 11 年 5 月 特別養護老人ホーム マザアス日野事業開始
 平成 11 年 5 月 デイサービスセンター マザアス多摩川苑事業開始
 平成 11 年 6 月 ショートステイ マザアス日野事業開始
 平成 11 年 7 月 デイサービスセンター マザアス大門事業開始



祭囃子が聞こえると心が浮き立ってくる。そういう気持ちは子供も大人も同じ。マザアスの利用者達も童心に返り、一緒に過ぎゆく夏を惜しんだ。納涼祭は入居者達にとって、季節を感じる数少ない機会の一つである。ご近所からも大勢の方が来てくれた。

家族・ボランティア・職員入り混じってのフラダンス



5月の風景

平成 11 年 12 月 グループホーム たきやま事業開始
 平成 12 年 4 月 居宅介護支援事業所 マザアス多摩川苑事業開始
 平成 12 年 7 月 ヘルパーステーション 多摩川苑事業開始
 平成 13 年 6 月 居宅介護支援事業所 マザアス氷川台事業開始
 平成 14 年 3 月 グループホーム ひかわだい事業開始



平成 17 年 9 月 グループホーム たまだいら事業開始



東久留米のヒーロー
クルメイザー

東久留米の秋光祭では
こんな方々も招待して
います。



平成 18 年 4 月 東久留米市東部地域包括支援センター事業開始

平成 18 年 7 月 グループホーム おがわ事業開始



日野特養 4 階ベランダ
で早春の陽を浴びて



日野納涼祭から職員の
「よさこいソウラン」



ひだまりの小径



ブレイク！日野の納涼祭から AKB48？

平成 20 年 9 月 小規模多機能ホーム みなみだいら事業開始

平成 21 年 4 月 日野市地域包括支援センター 多摩川苑事業開始

平成 22 年 5 月 地域密着型特別養護老人ホーム マザアス新宿事業開始

平成 22 年 5 月 ショートステイ マザアス新宿事業開始

平成 22 年 5 月 グループホーム つつじ事業開始

平成 22 年 5 月 小規模多機能ホーム さくら事業開始



施設内研究発表会。発表が終わって発表者と聴講者との意見交換の様子です。

平成 23 年 5 月 小規模多機能ホーム さかえまち事業開始

平成 23 年 10 月 居宅介護支援事業所 栄町事業開始

平成 23 年 11 月 ヘルパーステーション 多摩川苑事業開始 (障害福祉サービス事業)

平成 24 年 4 月 韓国社会福祉法人「平安の家」国際交流調印



文化祭 (日野)



韓国・社福「平安の家」にて



秋光祭 (東久留米)



ここから祭 (新宿)

法人設立 20 周年記念式典

10月19日

特別演奏 グランループカルテット（平均年齢 80 歳の方々です）



一緒に成長を見つめていただいた方々から



特別功労者表彰
ミサワホーム
石原正弘様
東久留米医師会長
石橋幸滋様



※この後サプライズがありました。
影の功労者としての理事長の奥さまへ
特別功労賞が授与されました。



ご来賓ご挨拶
東京都高齢者福祉施設
協議会会長
西岡 修様

私とマザアス（思い出を語る）



日本社会事業大学
大学院特任教授・理事
見玉桂子様



ミサワホーム
石原正弘様



マザアス東久留米
施設長
松澤雅子

20 年永年勤続者表彰

- マザアス東久留米施設長 松澤雅子 ●居宅介護支援事業所マザアス永川台 篠田弘美、掛川勝裕
- ヘルパーステーションマザアス永川台 梅谷優子



梅谷優子 掛川勝裕 篠田弘美 松澤雅子



韓国社会福祉法人「平安の家」理事長 イ・ウンギョン様

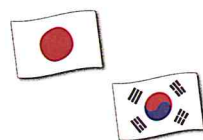


韓国 社会福祉法人「平安の家」理事長 イ・ウンギョン様からのお祝いの壺が贈られました。お互いの社会福祉法人が末永く世の中に貢献でき舞うようにと、千羽鶴が描かれていて、底には記念の文字が画かれています。

● 韓国「平安の家」から国際交流研修で来訪

10月23日(木)～26日(日)

国際交流の協定を交わしてから双方それぞれ4回目の交流となりました。



日野、新宿、東久留米の各事業所を見学、東久留米事業所では現場での交流も2回目を迎え、活発な意見の交換がなされ、今後の交流の方法についても意見の交換があり、今後の方向性を考える上で示唆も与えられた。

● マザアス東久留米 「とも・いきマザアスバザー」



年々来訪者が増え今年は落語公演もあって大盛況の様相でした。



秋 光 祭

とも・いきマザアスバザー
落語公演 三遊亭善光氏

10月12日(日)
マザアス東久留米



東久留米ユルキャラ「るるめちゃん」も来ました。



● マザアス日野 「秋まつり」 ～テーマ 「エコロジー」～

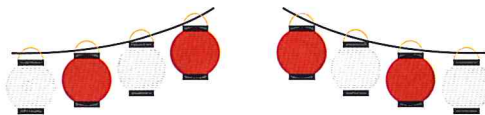
エコのつながりから日野市ゆるキャラ「エコアラ・エコクマ」を呼び、お祭りの目玉としました。ご利用者、ご家族、近隣の方々にも好評で、クイズ大会や撮影会と大活躍でした。資源の有効活用を意識した家族会によるバザー、マザアス日野の節電・節水効果の紹介など、近隣の方に見ていただく機会にもなりました。ボランティア団体によるお囃子や盆踊りは、各フロアでも披露していただきました。屋台メニューも充実し、焼きそば、たこ焼等、食形態に応じて用意し、鯛焼きは300個完売でした。ご利用者様が地域住民の一員であること、地域に根差した施設でなければならないと再認識した日でもありました。

10月4日(土)



● マザアス新宿 「ここ・から祭り」 開催

11/16



第4回 ここ・から祭り開催

マザアス新宿は区立中学校の跡地に建っています。

この敷地内にはマザアス新宿のほか、乳児院、学童クラブ、シルバー人材センターなど、乳幼児から高齢者までが利用する複合施設（愛称：「ここ・から広場」）になっています。

11月16日（日）は「ここ・から広場」のお祭りです。

参加団体それぞれが工夫を凝らした催しを企画しています。

マザアス新宿では、「介護用品の展示」「射的・輪投げ」「ちまき屋台」を企画しています。



■ 特別養護老人ホーム マザアス東久留米
TEL 042-477-7261 FAX 042-477-7500
〒203-0004 東久留米市氷川台2-5-7

■ デイサービスセンター マザアス氷川台
TEL 042-477-7263 FAX 042-420-5388
〒203-0004 東久留米市氷川台2-5-7

■ ヘルパーステーション マザアス氷川台
TEL 042-477-7260 FAX 042-477-0977
〒203-0004 東久留米市氷川台2-6-6

■ グループホーム ひかわだい
TEL 042-477-2150 FAX 042-477-2150
〒203-0004 東久留米市氷川台2-6-6

■ 居宅介護支援事業所 マザアス氷川台
TEL 042-470-1740 FAX 042-477-0977
〒203-0004 東久留米市氷川台2-6-6

■ デイサービスセンター マザアス大門
TEL 042-470-0065 FAX 042-470-8024
〒203-0011 東久留米市大門町2-10-5

■ 東久留米市東部地域包括支援センター
TEL 042-473-9996 FAX 042-470-8024
〒203-0011 東久留米市大門町2-10-5

■ グループホームたきやま
TEL 042-477-1525 FAX 042-477-1525
〒203-0032 東久留米市前沢5-25-14

■ グループホームおがわ
TEL 042-349-0160 FAX 042-349-0161
〒187-0032 小平市小川町1-113-8

■ 特別養護老人ホーム マザアス日野
TEL 042-582-1661 FAX 042-582-1730
〒191-0024 日野市万願寺1-16-1

■ デイサービスセンター マザアス多摩川苑
TEL 042-582-1675 FAX 042-582-1730
〒191-0024 日野市万願寺1-16-1

■ ヘルパーステーション マザアス多摩川苑
TEL 042-582-1673 FAX 042-582-1730
〒191-0024 日野市万願寺1-16-1

■ 居宅介護支援事業所 多摩川苑
TEL 042-582-1672 FAX 042-582-1730
〒191-0024 日野市万願寺1-16-1

■ 日野市地域包括支援センター 多摩川苑
TEL 042-582-1707 FAX 042-582-1730
〒191-0024 日野市万願寺1-16-1

■ グループホーム たまだいら
TEL 042-589-3668 FAX 042-589-3669
〒191-0062 日野市多摩平2-13-14

■ 小規模多機能ホーム みなみだいら
TEL 042-594-5780 FAX 042-594-5781
〒191-0041 日野市南平3-10-2

■ 小規模多機能ホーム さかえまち
TEL 042-582-1801 FAX 042-582-1802
〒191-0001 日野市栄町2-17-1

■ 居宅介護支援事業所 栄町
TEL 042-582-0311 FAX 042-582-1802
〒191-0001 日野市栄町2-17-1

■ 地域密着型特別養護老人ホーム マザアス新宿
TEL 03-5285-2531 FAX 03-5285-2535
〒160-0022 新宿区新宿7-3-31

■ グループホーム つつじ
TEL 03-5285-2532 FAX 03-5285-2535
〒160-0022 新宿区新宿7-3-31

■ 小規模多機能ホーム さくら
TEL 03-5285-2533 FAX 03-5285-2535
〒160-0022 新宿区新宿7-3-31

ジャズダンス (ボランティア) [2014年11月05日 (Wed)] 新宿

近隣の方がジャズダンスのボランティアに来てくださいました。😊



皆さん曲に合わせて楽しそうに手足を動かしていました。曲はSMAPの「オリジナルスマイル」や嵐の「Happiness」です!!
よい運動になったと思います。今後、定期的実施予定です。👉

タクティールケア I の認定証をいただきましたマザアス東久留米特養の押見直恵さんです。マザアスで第1号です。

タクティールとは、ラテン語の「タクティリス (Taktilis)」に由来する言葉で、「触れる」という意味があります。その意味が示すように、手を使って10分間程度、相手の背中や手足を「押す」のではなく、やわらかく包み込むように触れるのがタクティールケアです。このケアは、私たち自身の手の持つ力を再認識させてくれます。



特養 押見直恵さん



求人情報

私たちは、「何ごとでも人々からしてほしいと望むことは、人々にもそのとおりにせよ」という基本理念のもと、ご利用者の「生活の質を高めるケアの実践」という経営理念を現実のものとするため常に前向きに活動しています。

このような環境で一緒に働きませんか。

職場見学の受け入れも行っていますので、お気軽にご連絡ください。

マザアスが求める人材像

常にご利用者の立場に立って物事を考え、行動できる人、自分の仕事に誇りを持って取り組める人、自発的・積極的に考え、行動できる人、お互いの専門性を認め合って、他職種と連携して仕事ができる人

応募はメールで!

office@moth.or.jp

①希望勤務地、②氏名、③年齢、
④連絡先、⑤保有資格
※2営業日以内にご連絡します。

編集後記 法人設立20周年記念号 No.72号

社会福祉法人マザアスは、今年でめでたく創設20周年を迎えることができました。これもひとえに、この20年のあゆみを共にしてくださったみなさまのお力添えのおかげと、深く感謝しております。本当にありがとうございました。

これからも、地域のニーズに応え、社会に貢献する社会福祉法人マザアスでありつづけたいと思います。(K.Y)